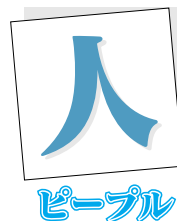


交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

多くの人に支えられ50年



日本陸連「秩父宮章」を受章
赤石 明男さん(64) 幸塚町

先月二十七日、日本陸上競技連盟やその加盟団体に功績のあった人に贈られる「秩父宮章」を受章。昭和四十七年から現在まで三十年の長きにわたり、群馬陸上競技協会理事を務め、昭和五十八年のあかぎ国体、平成

十一年の世界室内陸上競技選手権前橋大会など、競技役員として貢献したことが認められた。「中学の時に担任の先生に勧められ、陸上競技を始めて五十年。節目の年に陸上界で最高の栄誉を賜り感激しています。これも周囲の皆さんに恵まれたおかげ。感謝しているんです」高校でも陸上部に入っており、八百リレーでインターハイに出場。やり投げも始め、就職後は関東大会などで何度も上位入賞を果たした。その後は審判や役員として活躍するとともに、マスターズで競技を続けている。「定年の年に全国優勝を果た

し、今も毎日最低一時間は桃ノ木川の河畔でトレーニング。二度目の優勝を目指しています」市陸上競技協会理事長も三十一年間務めたが、今年三月、後進に道を譲った。「これからは競技運営のコンピュータ化がさらに進んでいくことでしょう。前橋シティマラソンも、来年度からはハーフマラソンが加わります。若い人には、陸上競技発展のために一層頑張ってもらいませぬ」自治会副会長と民生委員も務めている。これからも忙しい日々が続くだろうが、鍛え上げた体ですます活躍が期待される。



だんべえ踊って 広がる交流の輪

文京町三丁目・大島松己67

広報まえばしでだんべえ踊り初心者を対象とした練習会があることを知り、基礎を身に付けるいい機会だと思い、参加しました。これまでは、周りの人の踊りを見て踊っていたので不安もあったのですが、せつかく前

橋まつりに参加するので、練習会に足を運んでみることに。分かりやすい指導方法で多くの仲間と楽しく練習ができました。特に、難しいステップから練習し、さらにそこを反復する方法は理解しやすかったです。練習最終日は、参加者が非常に多く、市民体育館の大ホール全面で踊りました。踊っている自分の年齢を忘れ、夢中になってしまいます。今年は練習の結果、前橋まつりで上手に踊ることができました。そして、だんべえ踊りを通じて前橋の発展と地域の活性化が図られ、多くの人たちとの交流の輪が広がることをうれしく思います。



まちのNews

天川大島町住宅

菊を通して 人との交流

十一月三日、天川大島町住宅自治会館で、菊花展が開催されました。これは、毎年長寿会が中心になり行っている行事。春に苗を配り、各家庭で丹精して育てた菊を展示します。今年は例年より花の付きが遅めだったにもかかわらず、色とりどりの菊がたくさん出品されました。参加者も楽しいおしゃべりに花を咲かせながら、秋の彩りを堪能したよう。小野寺定夫町老人会長は、みんな花を育てることで、交流も深まります。展示が終わった鉢の根から次の苗を育てますが、来年も美しい花を咲かせたいですね」と話していました。